

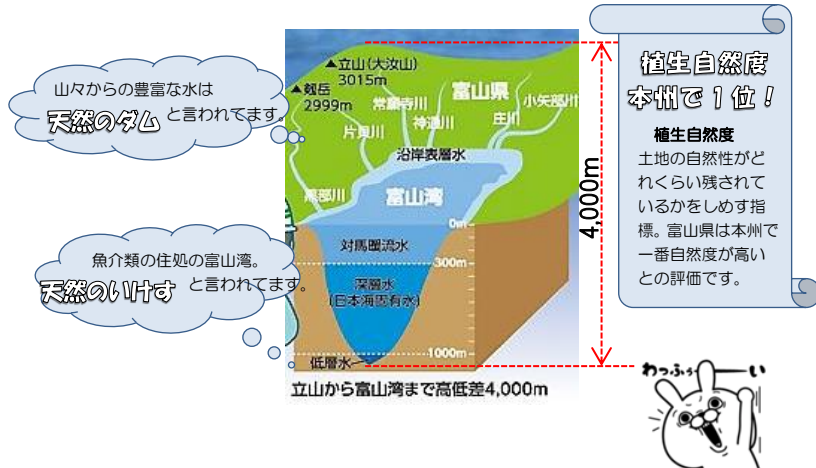
とやまあれこれ Vol.1 あれこれ編

平成29年度の全国大会開催が決定した富山県より、「とやまあれこれ」をシリーズで皆様にお伝えし、開催まで盛り上げていきたいと思ひます。さあ！はりきって第一弾です！

皆さん、「とやま」ってどんなイメージをお持ちですか。山に囲まれて自然がいっぱい、海産物が豊富、売薬さん…ってトコでしょうか。もしかしたら、「そもそも富山ってどこにあるの？」という方もいらっしゃるかもしれません。

のですね。しかも、漁場から港までの距離が近く、鮮度が落ちる間もなく運べる。そういったことから富山湾は「天然のいけす」と呼ばれています。

「とやま」ってここにあります！



- 面積 → 4,247.61km²(全国 33 位)
- 人口 → 1,066,883 人(全国 37 位) ※H27年10月1日の数値
- 市町村数 → 15(10市4町1村)
- 気候 → 年平均気温:14.1℃ 年降水量:2300.0mm
- アクセス → ・東京まで 新幹線 2時間8分
 ・大阪まで 新幹線+特急 3時間19分
 ・名古屋まで 車 約 3時間

「越中の一つ残し」に見る県民性

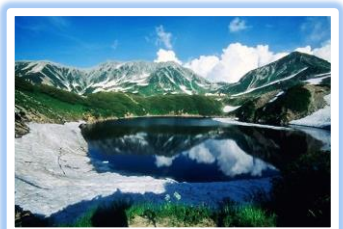
ところで、富山県は全国持ち家率、持ち家延べ床面積が全国トップクラスです。

富山県には「越中の一つ残し」(生涯で一財産残すこと)という言葉があるほど、自分の家を持って一人前という風潮があり、その表れではないかと思ひます。また、女性の就業率が高く共働き家庭が多いため家計が豊かなことも要因の一つです。石川県の「嫁は越中から貰え」という格言は、富山の女性は働き者とされることに由来しているそうです。子弟の教育にも熱心な傾向があり、全国学力調査など教育関係の統計で、常に上位に位置しています。

昨年、北陸新幹線が開通し、首都圏へのアクセスが大幅に時短となり、観光や産業人口が一気に増加した富山県。次回は観光や名所についてご案内します。

どうぞお楽しみに♪

イラスト提供: ヨッシースタンプ®
 写真出典: 富山県ホームページ



海あり！山あり！

変化にとんだ地形が生み出す豊かな自然！

富山県は、立山連峰から富山湾に至るまで、**高低差4,000m**のダイナミックで変化に富んだ地形をしています。そんな風土が、多種多様な動植物、豊かな水源など県民の暮らしに大きな恵みを生み出してくれています。

富山のお魚はなぜ美味しいのか？それは、この特異な地形に関係しています。

富山湾は沿岸から急激に深くなっていて、海底に多くの谷があり、そこが魚介類の格好の住処になっています。加えて、3,000m級の立山連峰から流れる水が豊富な栄養分を運んでくるので、お魚たちがふくよかに育つ